

## 大項目ごとの主な取組み状況

### 1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

#### (1) 創業・新事業支援機能等の強化

外部団体との情報交換、研修会への参加を増やし相談機能の充実に努めてまいりました。

#### (2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

取引先企業の経営相談及び要注意先債権等の健全債権化についての取組みについては、本部事業者支援室と営業店が連携しながら取り組んでまいりました。各営業店には「経営改善支援責任者」を置いております。

#### (3) 事業再生に向けた積極的取組み

他の金融機関の取組み事例や再生におけるノウハウの研究を行い、また「滋賀県中小企業再生支援協議会」や政府系金融機関、県内金融機関と連携を深め、再生支援に取り組んでまいりました。

#### (4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

「事業者サポートローン」など無担保融資に力を入れてまいりましたが、より利用しやすい「事業者サポートローン活力」を発売し、地域の商工会とも提携を行ってまいりました。また、19年2月には保証会社の保証を利用した「事業者サポートローン即効」の取扱いを開始いたしました。今後は信用格付結果等も考慮した融資の推進に取り組んでまいります。

#### (5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化

お客様に対する説明態勢の整備として、説明用の資料や内部の規程・要領等を必要に応じて見直してまいりました。また、苦情・相談処理機能の強化にも努めてまいりました。お客様相談室や営業店での対応体制の整備に加え、再発防止策を含めた職員の教育・指導の徹底を図ってまいりました。

#### (6) 人材の育成

毎年度研修計画を立て、継続的な人材育成に取り組んでまいりました。外部研修・セミナーへの人材派遣や活発な内部研修・OJTにより、お客様の役に立つ職員の育成に努めてまいりました。また、FPなど専門的資格の取得についても奨励し、ご相談に応

じられる金融機関を目指しております。

## **2．経営力の強化**

### **(1) リスク管理態勢の充実**

第7次中期経営計画（平成16年度～18年度）において、リスク管理の徹底及びリスク管理態勢の充実を重点課題として取り組んでまいりました。平成18年度は、総合リスク管理の構築に向け取り組んでまいりました。

特に信用リスクについては、自己査定基準書の適宜見直し、厳格な担保評価の実施、査定担当者への研修等により、正確な資産査定に注力してまいりました。

### **(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上**

適切な融資推進と審査に心掛け、自己査定を厳格に行い、延滞貸出金の削減の取り組み強化を継続してまいりました。

### **(3) ガバナンスの強化**

情報開示（公表）については、3月末、9月末基準による年2回のディスクロージャーを実施していますが、内容の充実及び利用者への利便性向上、分かりやすい情報開示に心掛け経営の透明性の向上に取り組んでまいりました。

平成17年度は、総代選挙規程の改正を行い、新しい選挙制度のもとで総代選挙を実施しました。総代会のしくみや役割については17年3月期からディスクロージャー誌へ掲載し、17年9月期ディスクロージャーから総代氏名の公表も行いました。理事会等の機能発揮のため、経営の方針決定などにおいて、努めて実質的議論を行ってまいりました。

### **(4) 法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化**

毎年コンプライアンス・プログラムを策定し、全店でコンプライアンスに対する取り組みを強化しております。法令等遵守への取組状況については、半期ごとに理事会等へ報告を行ってまいりました。また、検査部や監事による実地監査では、コンプライアンスに関する点検を強化し、不祥事件はじめ、コンプライアンス違反の未然防止に努めております。平成18年度は、特に顧客保護と信頼性向上の取り組みを強化し、法令及び内部規程を遵守した取扱いを行う等、全役職員がコンプライアンスに積極的に取り組んでまいりました。

### **(5) ITの戦略的活用**

渉外支援端末機の更改に伴う渉外活動の効率化、インターネット・モバイルバンキング（個人）の拡大、ホームページを利用  
しての情報の充実、組合内パソコンネットワークの高速化等に取り組んでまいりました。

#### **（６）協同組織中央機関の機能強化**

「経営健全化計画」による適正な収益計画のもと、経営力の強化と経営の健全性確保に努め、自己資本の充実に努めてまい  
りました。

当組合は、協同組織金融機関としてその特性をフルに発揮しつつ、信用力の確保のため、収益性の向上を図り、体質（経営）  
強化に努めてまいりました。

#### **（７）貸出金信用リスク管理態勢の強化**

平成１８年度は、信用リスクデータベースの整備と債務者区分のランクアップに注力し、ローンレビューの確立・徹底を図って  
おり、今後の審査や債権管理の一助として役立ててまいります。

#### **（８）不良債権の回収及び不良債権比率の改善**

数年来、取り組みを強化してきたところですが、今年度においても計画的に不良債権処理を進め、不良債権残高と比率の改善を図  
ってまいりました。

### **３．地域の利用者の利便性向上に係る取り組み方針**

#### **（１）地域貢献等に関する情報開示**

半期毎にミニディスクロを発行し、主に融資業務をとおした地域貢献の状況等に関する情報開示を行っております。平成１８年  
９月期の状況については、１１月に開示いたしました。

#### **（２）地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立**

平成１８年２月にお取引先２，０００人の方にご協力いただき「利用者満足度アンケート」を実施いたしました。アンケート結  
果を踏まえ、よりお客様の利便性に役立つよう営業施策への反映に努めてまいりました。

#### **（３）地域再生推進のための各種施策との連携等**

地方公共団体や商工団体と連携し、地域の再生・活性化に取り組んでまいりました。